

## 第2回府中市教科用図書採択地区選定委員会 議事録

日 時 令和5年7月12日（水）13：30～17：30

場 所 府中市教育センター第一・第二会議室

出席者 花田三恵委員、矢野康博委員、白石喜子委員、青山俊美委員  
榎本直揮委員、小川史直委員、河田五月委員、松本直丈委員

### 【花田会長】

これから、第2回府中市教科用図書採択地区選定委員会を行います。

みなさん、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日から教科書の選定をしていただくわけですが、調査員の説明を聞くことに加え、不明な点は質問をしていただき、それぞれの教科書の特徴について協議していただきたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、事務局より事務連絡をお願いします。

### 【事務局】

まずは、本日配付の資料を確認いたします。レジュメ、（資料1）調査研究の観点、広島県選定資料、（資料2）調査報告書、（資料3）評価表、（別紙）「調査員による調査報告について」、前回の議事録です。過不足がございましたらお知らせください。

次に、前回の議事録についてですが、この会の終了前に確認し、ご署名、押印をしてお帰りください。

では、今回からの会の流れについてです。改めて、教科書採択についての流れを説明します。今年度行う教科用図書の採択は来年度から4年間、小学校で使用する教科書を選ぶものです。

本日を含めて2回の会議でそれぞれの教科の調査員から、資料1に示す5つの観点に基づいて各社の教科書の特徴を、報告してもらいます。その報告を受け、本選定委員会には、府中市教育委員会からの諮問に対して答申をしていただくこととなります。

なお、第1回の選定委員会の後に、広島県選定資料が届きましたので、お配りしております。調査の視点を確認したところ、やや変更点がありましたので、それを資料1に赤字で示しております。大きな変更点としては、家庭科の第3の観点の②が削除され、第4の観点の②の視点が、また、社会科の第4の観点到③が付け加わっております。このどちらもユニバーサルデザインの視点となります。調査員は、この修正した観点・視点に基づいて報告書を作成しております。

資料2をご覧ください。これは、府中市教育委員会へ答申をしていただく際の客観的な資料となります。

続いて、資料3をご覧ください。こちらは、調査報告を受け、協議をしていただいたのち、3段階で評価していただくものです。その際の基準についてですが、検定済み教科用図書ということは、どの教科書会社の教科書も文部科学省によって、優れていると判断さ

れたものであるということです。従いまして、評価の基準は、「2」として、特に顕著な教科書は「3」、あまり顕著ではないと判断されるものは「1」という基準で評価をしてください。よろしくお願いいたします。

この後、調査員から報告を受けます。本日は、レジュメに示してございます、5教科についてです。

別紙をご覧ください。限られた時間でも、充実した選定が行えるよう、全教科の調査員に、このとおり調査報告をするよう連絡しております。例文にありますように、各観点で特徴的なものの番号が報告されますので、選定委員の皆様には、マーカーを入れながらお聞きいただきたいと考えております。さらに、最も特徴的な観点については、別の色のマーカーを入れてください。

調査員からの説明を10分間、質疑応答に10分間、選定に係る協議及び評定を10分間、合計1教科の予定時間は30分間としております。国語科は、書写を含むため、調査員の説明を最大20分間としています。予定時間内に評定が終わらなかった教科については、16:30からの時間で再度協議を行っていただきます。

府中市の子どもたちが使用する教科書の選定が厳粛且つ適正に行われるよう、御協力をお願いいたします。

最後に、図書館で開催しておりました、教科書展示会でのアンケートについてです。こちらのアンケートを回覧いたしますので、市民の皆様方のご意見もお知りおきいただいた上で、選定に係る協議を行っていただければと思います。

私からは以上となりますが、この後、英語の教科書に係る調査研究報告を受けますので、英語の教科書をご準備ください。

[英語]

【花田会長】

それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、英語の教科用図書調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点②でした。具体的には、小单元ごとに振り返りができるようになっており、学期ごとに学習したことを振り返る「Check Your Steps」が設定されている。できるようになったことをチェックできるよ

う、「My Picture Dictionary」に「CAN-DO の樹」が掲載されている。というところでした。

続いて、開隆堂の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

さらに、開隆堂の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点②でした。具体的には、Activity 2 のペアやグループでのやりとりの場面では、よい聞き手を育てるために、学習内容に合わせ、相手の話を聞いて「褒める」「質問する」「励ます」ための表現例を紹介するコーナーが設定されている。というところでした。

続いて、三省堂の特徴について、報告します。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、三省堂の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点①でした。具体的には、3つのUnitのゴールとしてJumpが設定されている。また、Jump Plus が発展活動として示されている。というところでした。

続いて、教育出版の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点①でした。具体的には、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示している。音声や動画等が視聴できるQRコードを、活動ごとに数か所示している。というところでした。

続いて、光村の特徴について、報告します。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点②

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

さらに、光村の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点②でした。具体的には、児童が「伝えたい！」と思えるように、コミュニケーションの目的や場面、状況が明確に示されている。また、誰が何のために伝えるのかという視点も示されており、自分の考えや気持ちを表現する活動がUnitの中心に設定されている。というところでした。

最後に、啓林館の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

さらに、啓林館の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点②でした。具体的には、単元末にlook backとして、できるようになったことにチェックをしたり、実際に使える場面を考えたりする欄が設けられている。大単元ごとにREVIEWとして、これまでの学習を活かした言語活動と振り返る場が設定されている。というところでした。

以上で、英語の教科用図書の調査報告を終わります。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【松本委員】

東書の第2観点の視点②と啓林館の第2の観点の視点②の違いは何ですか。小単元ごとの振り返りか大単元ごとの振り返りかということでしょうか。また、実際に使える場面を考える欄が設けられていることが啓林館の特徴と捉えてよいでしょうか。

【調査員】

東書では「My Picture Dictionary」がベースになっており、そこで振り返りができる「CAN-DOの樹」があります。

【松本委員】

別冊にもあるのですか。

【調査員】

別冊でもこの「My Picture Dictionary」があり、東書は通年使うことになっています。別冊の後ろにもどのようなことができるようになったかをチェックできることが特徴だと感じました。

【松本委員】

啓林館はどうですか。

【調査員】

啓林館は、1単元ごとではないですが「REVIEW」というページがあったり、「look back」のようなチェックを付けて簡単に振り返る箇所があったり、書き込んでしっかり振り返る箇所があります。振り返りをしっかりと書き込むようになっていることが啓林館の特徴だと感じました。

**【楨本委員】**

光村の第5の観点②についてどの部分を読むとわかりますか。

**【調査員】**

光村は子供にとっても先生にとってもやることが明確に示されていると感じます。とてもわかりやすいと思いました。大きなゴールや1時間ごとにする 것도記載されています。先生がそのまま学習課題として提示することもできそうです。子供もわかりやすいと思います。

5年の57ページにあるようにクイズになっています。子供をやってみようという気にさせるのではないかと感じました。

**【青山委員】**

教出の第4の観点について、QRコードが特徴として挙げられていましたが、それぞれの教科書会社で何か違うのですか。

**【調査員】**

QRコードはどの教科書にもありますが、教出が一番多いです。QRコードの記載について、他の教科書会社は右上等に統一されていますが、教出は色々なところに記載されています。

**【矢野副会長】**

色々なところに記載があると逆に分かりにくいのではないのでしょうか。

**【調査員】**

そうとも言えます。

**【矢野副会長】**

コミュニケーションを図るという視点を意識した教科書会社はありましたか。

**【調査員】**

何をしたらいいのかわからない教科書が一番難しいと思います。光村はしっかり書いてあるので子供が何をしたらいいかわかります。よって、コミュニケーションも取りやすいのではないかと思います。

**【花田会長】**

その他の質問はありますか。

**【松本委員】**

三省堂の第5の観点の視点②であげられている「Jump Plus」は毎単元に付いていますか。また、発展活動とはどのようなものですか。「Jump」はゴールの活動、「Jump Plus」はさらに発展的に示されているわけですね。

**【調査員】**

はい。

**【松本委員】**

「Jump Plus」を具体的に教えてほしいです。

**【調査員】**

具体的には、例えば5年の105ページに右下あります。少し難しい内容で毎単元あります。

**【矢野副会長】**

「Jump Plus」までが授業時数に充てられているのか、取捨選択していいものなのかわか

りますか。これだけの量があるとしんどいのではないのでしょうか。

【調査員】

しんどいと思います。

【矢野副会長】

ですよね。全部丁寧にやりすぎると授業時数がしんどいと思います。

【松本委員】

「Jump」はそんなに出てこないのではないですか。

【矢野副会長】

学期ごとかもしれない。なるほど。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございます。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【花田会長】

QRコードがいろいろなところにあるのは、やりにくいのではないのでしょうか。

【青山委員】

限られた時数でどこまでできるのでしょうか。テストもあります。教科書に書き込むようになっており、ノートがあるわけではありません。その点も考慮するべきだと思います。

【花田会長】

光村の教科書は、児童も先生もどこをやるかハッキリしている、と調査員からありましたが、確かに分かりやすいなと思います。

【花田会長】

開隆堂の観点4の②の報告にありましたが、褒める、励ますというコーナーがありました。

【青山委員】

例えば29ページです。友達が話しているところにこういう言葉を使おうと書いてありますが、別段多いというわけではないと思います。主体的な学びにつながるのでしょうか。

【松本委員】

大単元になっている教科書会社が多いですが、教出は小単元になっています。

【青山委員】

調査員から光村の教科書が先生も子供もどこをやっているかわかりやすいと話がありました。三省堂も、ゴールは示していませんが流れは示しています。開隆堂は、ゴールも流れも示しています。光村だけではないなと感じました。

【松本委員】

三省堂の特徴だと思いますが大単元をホップ・ステップ・ジャンプでまとめています。他は小単元をまとめて大単元をしているところが多いです。

【花田会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

[保健]

【花田会長】

続いて、保健の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、保健の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。具体的には、実習の例示が文章と絵で行われ、自分で記述・チェックする形である。手当ての方法を理由とともに記入させている。実験では、写真とともにやり方を説明している。というところでした。

続いて、大日本図書の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、大日本図書の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点でした。具体的には、「先生、ナビゲーター、児童のキャラクターを取り入れ、各単元の冒頭にQRコードを配置して関連する動画等をまとめて見ることができるようになっているとともに、児童の興味を引くようなQRコードも用意している。」というところでした。

続いて、大修館書店の特徴について、報告します。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、大修館書店の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、単元と学びを広げたり、深めたりする資料の場所が分かりやすく示されている。単元のはじめに有名な人のインタビューで興味・関心をもてるようにしている。それぞれの単元で「課題をつかもう」「話し合おう」「調べよう」「考えよう」の順番に提示され、必要な資料が記載されている。というところでした。

続いて、文教社の特徴について、報告します。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、文教社の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、単元のはじめに単元全体の学習課題が示されている。各単元の終わりに、単元の振り返りとして「わたしの〇〇宣言」が設定されている。小單元ごとに3つのMissionがある。Mission 1、2の中に2つのStageがあり、それぞれに応じた資料が記載されている。というところでした。

続いて、光文書院の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、光文書院の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。具体的には、4コマまんがを通して、課題を把握できるようになっている。資料を活用して振り返る活動をすることで、自然な課題設定がなされている。というところでした。

最後に、学研の特徴について、報告します。まずは、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、学研の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、他社に比べてもくじが詳しい。単元のはじめに、その単元で何を考えたり、話し合ったりしたらよいのかが示されている。学習課題をもたせるような吹き出しが掲載されている。小單元のはじめに「予想しよう」でイラストを提示し、「1資料を読み取る」「2原因を話し合う」「3学びを生かす」の3つの順番で、それぞれに応じた資料を記載している。というところでした。

以上で、保健の教科用図書の調査報告を終わります。

#### 【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

**【青山委員】**

第2の観点、「主体的に学習に取り組む工夫」について特徴的な教科書はありますか。

**【調査員】**

「主体的」の面で申し上げますと導入が充実しているのは特に東書、光文、学研です。東書は、5・6年の5ページのように、毎時間1ページを使って身近なことからスタートさせています。光文は毎時間ではないですが、5・6年生7ページのように、4コマ漫画からスタートするようになっています。学研は、5・6年生8ページのように、身近な問題からスタートするようになっています。学研は見開きのページでスタートします。

**【松本委員】**

大日本の観点4の視点①、児童の興味を引くQRコード資料の具体を教えてください。また、大修館の第3の観点、資料の場所がわかりやすく示されているとはどういうことでしょうか。

**【調査員】**

大日本については、21ページをご覧ください。わたしたちはどこかな？というQRコードがあり、子供たちの興味がわくように配置されています。

大修館については、5・6年の教科書40～41ページをご覧ください。熱中症の予防、手当ということで、資料だけのページがはっきりと別にとり取られています。また、36～37ページのようにスマートフォンやインターネットの使い方について具体的に掲載されており、資料ページがはっきりとしています。

**【河田委員】**

文教社の「Mission」について詳しく教えてください。

**【調査員】**

文教社4年生の教科書をお開きください。4～5ページの「言葉の発達」です。Mission 1、心の発達のしかた、心が発達するとどのようなようになるのでしょうか、という課題が示されています。その中にステージ1、年齢に伴う心の発達を調べよう、というめあてが示され、次ページでステージ2、心がどのように発達しているか考えようとなっています。大きな課題から細分化された課題になっています。それが「Mission」と「stage」です。

**【榎本委員】**

QRコードは授業で活用するのですか。また使用するときにはタブレットですか。

**【調査員】**

授業で活用しています。chromebookで児童が読み込んだり、先生が拡大して提示したりします。申し上げ忘れていましたが、東書は思考ツールだったり、ワークシートだったり、ロールプレイングのようなQRコードがありました。

**【花田委員】**

どこもQRコードがありますね。大日本図書が児童の興味を引くとありますが。

**【調査員】**

どこも掲載されていて、正直どこも興味を引くと思います。

**【花田会長】**

大修館はクイズ形式もあるようですが、会社によって中身は違いますか。

【調査員】

違います。資料だけの会社だったり、クイズが載っていたりする会社もあります。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【矢野副会長】

書き込みのものとそうでないものがありますね。

【花田会長】

特に書き込みが多いと思われる教科書会社はどれですか。

【矢野副会長】

東書が多い印象です。

【花田会長】

大修館は文字が多いです。情報がたくさん載っています。

【矢野副会長】

児童にはしんどいかもしれないです。

【松本委員】

他の会社、大日本図書も東書も資料は載っています。

【花田会長】

文教社は写真が多いです。目を引く資料も多いと感じます。例えば30ページです。

【矢野副会長】

分かりやすいですね。情報量もそこまでないです。イラストが多いからかもしれません。

【松本委員】

学研は書く箇所が多いですね。

【矢野副会長】

東書も書く箇所が多いです。

【松本委員】

確かに文教社は写真、イラストが多いですね。

【青山委員】

書き込みばかりだったら話し合いの時間の確保が難しいかもしれませんね。

【河田委員】

学研についてですが、子供の視点が書かれているのがわかりやすいと思います。例えば7ページ、25ページも。

【花田会長】

子供の言葉で吹き出しになっている点がわかりやすいということでしょうか。

【河田委員】

はい。

【花田会長】

光文は目を引かない印象があります。

【矢野副会長】

確かに。

【楨本委員】

薄いし、かさばらない点はいいのではないのでしょうか。

【花田会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

[道德]

【花田会長】

続いて、道德の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、道德の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いたします。

教科用図書の発行者ごとに、各観点で特徴的な視点の番号と最も特徴的な視点をお伝えします。

まずは、東京書籍です。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点②

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

最も特徴的なのは、第4の観点の視点②でした。具体的には、QRコードが全教材文に用意されており、朗読、スライドショー、デジタルノートに加え、その他のコンテンツとして関連資料もある教材があり、教材の内容理解を促したり、考えをまとめたり、資料をもとに考えを深めたりすることに役立つ、というところでした。

続いて、教育出版です。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

最も特徴的なのは、第2の観点の視点②でした。具体的には、「やってみよう」のコーナーを設けて体験的な学習を促しており、モラルスキルトレーニングや役割演技がすべての学年に取り入れられているというところでした。

続いて、光村図書です。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

最も特徴的なのは、第2の観点の視点①でした。具体的には、教材ごとに「考えよう・話し合おう」「つなげよう」「考えるヒント」等で、ねらいに迫るための問い、話し合いのコツやシンキングツールなどを使ったいろいろな考え方を促しています。また、5・6年生では、教材の特性に合わせて、問題解決的な話し合いを手引きに組み込んでいる、というところでした。

続いて、日本文教出版です。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点②

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

最も特徴的なのは、第5の観点の視点②でした。具体的には、道徳ノートを活用して、自分の考えをまとめるというところからです。この一冊で教材ごとや1年間の学習、SDGsとの関連についての考えをまとめることができます。一冊にまとまっているため家庭との連携にも役立ちます。また、デジタルコンテンツの中にもワークシートがあり、データを活用することができる、というところでした。

続いて、光文書院です。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点②

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

最も特徴的なのは、第3の観点の視点②でした。具体的には、6年間を通しての重点主題として複数時間構成とし、いじめを生まない心（全学年）、命をかがやかせる（全学年）とへこんでも立ち直る力（1・2年）、みんなで力を合わせて（3・4年）、世界中のいろいろな人とつながるために（5・6年）の3つのテーマを設定している、というところでした。

続いて、学研です。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

最も特徴的なのは、第3の観点の視点①でした。具体的には、「いのち」を最重点テーマとして内容項目「命の尊さ」の教材を全学年で3つ掲載していること、一つのテーマのもと、

内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材「いのちユニット」「多様性ユニット」「キャリアユニット」を設定している、というところでした。

以上で、道徳の教科用図書調査報告を終わります。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【榎本委員】

光文書院の第3の観点の視点②は、どこを見ればわかりますか。

【調査員】

光文はわかりにくいですが、もくじにあるマークの説明に情報モラルとの記載があります。6年生だと48ページにある部分です。

【榎本委員】

情報モラルについては、どこの教科書会社にも掲載がありますか。

【調査員】

どこも掲載しています。

【矢野副会長】

現代的な課題等を踏まえた内容の示し方は、どの教科書会社にも取り入られているのですか。

【調査員】

光文ははじめを重点的に記載しています。また、どの教科書会社にもありますが教出はSDGs関連のQRコードが掲載してあります。日文については、道徳ノートでSDGsについての振り返りができるようになっています。

【河田委員】

道徳ノートは日文だけですか。

【調査員】

はい。今までのノートから発問の記載が無くなっており、自由に活用することができるようになっています。

【青山委員】

発問の示し方について、それぞれの特徴を教えてください。

【調査員】

一番発問数が多く、考え方を示しているのが光村図書です。考えたり話し合ったりする部分に力を入れているように思いました。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【花田会長】

光村についてですが、第2の観点について重点を置いてありますが、資料が小さいせいか文字が多いというイメージをもちました。

**【榎本委員】**

ほぼ国語の教科書のような印象です。

**【花田会長】**

日文の別冊は、発問の記載が無くなったのは使いやすいと思います。発問が限定されない  
ので。

**【矢野副会長】**

光村は内面に迫るように感じます。教出は表面的に感じます。ノートの有無は大きいです。  
1社しかないですが。

**【松本委員】**

日文はまとまりで大きく振り返れるようになっていきますね。

**【花田会長】**

ある程度授業をした後に振り返る時間があるということですね。

**【河田委員】**

評価するにはノートがあった方がいいのではないのでしょうか。毎回QRコードを使用する  
のは難しいと感じます。

**【花田会長】**

その他の教科書会社で何かありますか。

**【松本委員】**

東京書籍は、chromebook で読み込んで画面共有できます。

**【花田会長】**

光文の観点については何かありますか。

**【河田委員】**

道徳の教科書化ははじめの問題によるところが大きいです。だから重点主題に選んだので  
はないのでしょうか。

**【花田会長】**

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

では、ここで休憩をとります。15：30に再開します。

(休憩)

[音楽]

**【花田会長】**

続いて、音楽の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いし  
ます。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

**【調査員】**

ただいまより、音楽科の教科用図書調査報告をさせていただきます。よろしくお願いい  
たします。

まずは、教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点①の音楽科の特性に応じた言語活動の工夫です。教科書のQRコードを読み込むことで、まなびリンクのウェブサイトを見ることができます。ここでは実際に演奏している映像や音声を見たり聞いたりワークシートに書き込んだりできます。

例として、4年生教科書54・55ページ「ノルウェー舞曲第2番」では、教科書に対応した楽譜が演奏され、今どこが演奏されているのかが楽譜に色で示されたり、楽器のオーボエの音色を紹介したり、ワークシートに書き入れたりすることができます。これらを活用することで、児童が音楽により親しむことができたり自分の考えを友達と共有しやすくなったりする手立てにつながります。

続いて、教育芸術社の特徴について、各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、教育芸術社の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点①学習目標達成のための支援の具体例でした。表現活動では学習過程を「見つける」「考える」「歌う/演奏する」、音楽づくりでは「見つける」「考える」「つくる」という風に学習過程をパターン化してあります。

例として1年生教科書24・25ページ「かたつむり」の歌では、「みつける」「うたう」では、かたつむりはどのような様子か見付け、かたつむりに呼びかけるような気持ちで歌うよう示してあり、「かんがえる」では習ったリズムの中から自分が打ちたいリズムを選べるよう示しています。このように、全ての学年で学習の流れが統一した形で示してあることで、音楽が得意な児童もそうでない児童も、どのような視点で学習を進めたらよいか手掛かりにすることができます。

以上で音楽の教科用図書の調査報告を終わります。

**【花田会長】**

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

**【青山委員】**

教芸の観点の1の①をもう少し詳しく教えてください。

**【調査員】**

教芸の特徴として教科書で完結できる点が挙げられます。例えば、6年生の教科書22～23ページをご覧ください。最初にリズムのよさについて見付けるとなっています。そして、その次にリズムを考える、3人組になり相談しながら自分で考えようとなっています。考える過程で支援するワークシートがあり、書き込むこともできます。教出に比べて教芸の方が

書き込むところが多いのも特徴です。

最後に、自分の声の響きを考えてアンサンブルをつくるということで教科書のみで完結できるようにになっています。

【青山委員】

もう一方の教出の特徴的なところで挙げていた「音楽科の特性に応じた言語活動」とは、どの部分で示されていますか。

【調査員】

4年生の教科書、54～55ページをご覧ください。どちらの会社の教科書も背表紙にQRコードがあります。教出の方は「学びリンク」にアクセスできます。教出は映像が多く、教芸は音楽のみが多いです。ただし、数だけで言うと教出は6年で9つ、教芸は6年で30です。しかし教出は映像と音声なので、見て聞いて学べるようになっていきます。さらに、54ページの主な旋律というところでは、楽譜に色が付くようになっており、演奏されている箇所が見てとれるようになっていくので、音程の高低やリズムの速さがわかりやすいです。

もちろん55ページにあるワークシートもデジタルコンテンツに入っているため、ロイロノートにダウンロードができます。担任に提出することで、教科書やプリントを集める必要もなく、デジタル上で誰がどのような考えをもっているのかを共有しやすいので、言語活動の充実につながると考えられます。

【小川委員】

QRコードで映像を見て聞いて学べますが、授業中に映像を見ながら楽器を演奏することはあまりしないのではないのでしょうか。どのような使い方をするのですか。

【調査員】

私が考えていることはモニターに教師用のchromebookを接続して、全体に見せることです。また、長期休業中にリコーダーを演奏する宿題を出した際、指使いを家庭で見ることが可能です。ただ、おっしゃるとおり各自で見ってしまうと音声重なってしまうので1つ大きなもので見せるという方法が妥当です。

【小川委員】

見て演奏するなら家庭学習や自主学習ですかね。

【松本委員】

2点質問します。第5の観点を見比べたときに、どちらも感じ方や考え方を深めていく場面が設定されていますが、教出は、それを表現できるようにQRコードのリンク先に書き込めるようになっていきます。これはQRコードを読み込めばそれぞれの子供たちがそこに感じたことを入力し、共有できるというイメージで相違ないのでしょうか。

【調査員】

相違ありません。

【松本委員】

そのような機能は教芸にはないのですか。

【調査員】

教芸にももちろんありますが、ワークシートが単体になってしまいます。例えば、先ほど教出で説明した、聞いた、考えた、表現したというようなことについて、表現した、というワークシートはありますが、音声しかないというのが教芸は多いと考えられます。

【松本委員】

もう1点。第4の観点、「音楽のもと」というのが教出にはありますが、教芸は要素という形で書かれていて中身としては変わらないと思います。ただこの違いとしてはより教出の方が明確に書かれているという違いなのですか。要素についての記述はどちらもあるのでしょうか。

【調査員】

要素の記述はどちらもあります。教科書で言うと教芸のどのページの右側にも小さく示しています。教出は上部や右側に示してあり、それに付け加えて最後に音楽に関わる色々な言葉が載っています。例えば、鑑賞後、何を書いてよいかわからない子供については、ここに書いてある言葉を紹介したり、この中でどれに当てはまるかを問いかけたりすることで子供たちが感じたことと言葉を結び付けられると考えます。

【松本委員】

具体的な言葉が書いてあるのですか。

【調査員】

書いてあります。それでも難しかったら、教師が「雲の上を走っているような感じ」と別の例を示すことはありますが、充実した言葉が掲載されていると思います。

【花田会長】

教出はリコーダーの指導事項がスモールステップについて示されていると書かれてあり、教芸は名称等が写真で掲載されていると書いてあります。教出のスモールステップについてもう少し詳しく教えてください。

【調査員】

両社とも3年生でリコーダーの学習が出てくるので比較してもらいたいです。どちらも20ページ前後に出てきます。これも先ほど言ったことと関連してきますが、教出の方はデジタルコンテンツが掲載されており、映像も載っています。また、教出は方法に寄せてきています。例えば吹く時の息、21ページにシャボン玉を吹く児童の絵が載っていますが、シャボン玉を吹くみたいにリコーダーも吹いてみようということを示しています。これはいわゆる息遣いのスモールステップです。その下に息を吸う状態を示しています。両社とも右側に指で穴を押さえる方法が掲載されています。一方、教芸はどちらかという活動内容を示していることが多いです。最初にリコーダーのマウスピースだけで吹いてみようという活動が示されています。次に姿勢などが載っており、指で押さえてみよう、息の使い方、タンギング、という形になっています。まず活動をしてから実際の方法、技能に入っています。その違いがあります。

【河田委員】

どちらの指導方法が子供たちにとってよいと考えますか。

【調査員】

子供たちはまず吹いてみたいと考えられると思います。まず活動をしてから実際の息遣い、指使い等の指導の順の方がいいと考えます。ただ、音楽を専門的に教えるとなると最初に息遣いを教えるということが大事だと思います。活動より先に正しい方法を教える方がいいのではと個人的には考えています。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございます。  
これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【花田会長】

教出についてですが、数は少ないとはいえ本物の映像があるのは魅力的です。

【河田委員】

鑑賞が苦手な子にとってはいいかもしれないですね。

【青山委員】

それは教出ですか。

【河田委員】

そうです。

【河田委員】

共通事項についてですが、教出の方は、例えば3年生で見たら動物の絵で表してあります。3年生くらいにとってはこれくらいがわかりやすいのではないのでしょうか。6年生でこれは困りますが。

【矢野副会長】

どの部分ですか。

【河田委員】

教出76ページ、教芸は82～83ページです。

【松本委員】

同じ項目ですが、6年生では記載方法が違います。教出はより専門的に書かれている印象があります。

【花田会長】

難しくなっているとは思いますが。しかし、楽譜がリズム等と対応しているので明確でわかりやすいです。

【松本委員】

発達段階に応じて書かれていますね。

【花田会長】

そうだと思います。

【榎本委員】

3年生で同じ曲がありますが、教出の方が様々な楽器の楽譜が充実しています。どちらがいいかはわかりませんが。教出は最後に「さんぽ」が必ずありますね。

【花田会長】

教芸はヘッドホンマークがあります。実際に聞けます。合奏するとき便利ですね。

【河田会長】

教出はないですか。

【花田会長】

聞けます。それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

[国語・書写]

【花田会長】

続いて、国語・書写の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、(国語科)の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、1・2年生で自分の思いや考えを伝える言語活動が多く取り入れられているのに対して、3年生以上では、さらに集団で問題解決を目指したり、個人の考えを深めたりするための話し合いの仕方が示されており、話すこと・聞くことの指導が系統的に扱われていました。

続いて、教育出版の特徴について、報告します。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、低学年段階から話し合う活動が示されており、やり取りを通して個人の思いや考えが引き出されるような言語活動が多く掲載されていました。高学年ではパネルディスカッションやディベートといった言語活動も扱われています。

続いて、光村図書の特徴について、報告します。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。教育出版同様、低学年段階から話し合う活動が示されており、ペアやグループでのやり取りを通して個人の思いや考えが引き出されるような言語活動が多く掲載されていました。さらに、光村図書の場合、二次元コードを読み取ることで、モデルとなる話し方・聞き方を動画で視聴すること

ができるようにもなっていました。

以上で、(国語科)の教科用図書の調査報告を終わります。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【榎本委員】

東京書籍の第5の観点の「3学年以上で系統的展開されている」について1冊の中で系統的なのか、3～6学年で系統的という意味なのか教えていただきたい。

【調査員】

6学年を通して系統的という意味です。例えば1・2年生でスピーチ、3年生以上になると集団でのディスカッション、対話、そういった言語活動が設定されています。そういう意味での系統です。

【榎本委員】

6年生になって教科書が変われば系統がくずれるのではないですか。

【調査員】

今までの教科書も低学年でスピーチや話し合いの内容は扱われています。子供たちが今までその教科書を使っていないからといって、その言語活動をしたことがないということはないので、その点については心配ありません。

【河田委員】

第5の観点、学校図書館機能の利活用について詳しく教えてください。

【調査員】

学校図書館機能の利活用については、どの教科書会社でも扱われています。例えば東書の6年102ページ。他の学年でも扱われていますが、「6年生の本棚」という形で紹介されています。学校図書館にあるような本をここから見付けて図書館につなぐ、というようなページがあります。

教出の中にも同じように「本を読もう」「広がる読書の世界」のコーナーがあり、読書の広がりにつなげるような内容のページがあります。光村も同様です。「本の世界を広げよう」というコーナーが掲載されており、読書への興味・関心を高めるために示されています。さらに、光村は巻末でSDGsに関する本が取り上げられており、世の中の関心事につながるようになっています。学校図書館や地域の図書館の利活用については、どの教科書会社も取り上げています。

【松本委員】

教出、第4の観点の①についてですが、教科書の中にそのようなもくじやページが整理されているのですか。

【調査員】

教出6年上、4ページをご覧ください。「6年生でまなぶこと」という見出しがあります。ここにそれぞれの領域と単元が整理されています。その中にSDGsのロゴでSDGsの関連が示されています。このように整理されています。

【青山委員】

第2の観点の、「興味・関心を高めるための工夫」の「課題解決的な学習を実施するため

の工夫」が見て取れるところを例示してください。

#### 【調査員】

東書について、先ほどの他社の教科書でも出たのですがSDGsをはじめ、現代社会が抱えるような問題を切り取ったものが多く扱われています。例えば6年生90ページの「インターネットの表を読み比べよう」や108ページの「未来を生きる君へ」のところで世界は必ず変えられるという中満泉さんの文章が載せられています。106ページでは上橋さんの文章が掲載されています。世界で活躍されている方々のエッセイが載っています。それは東書の特徴だと思います。

教出について、6年生の38ページ、先ほどの質問と重なる部分が出てきますが、SDGsの観点から総合的な学習も進められるように環境問題に着目した話題が取り上げられています。また、6年生の下、62ページ「うれしさって何？」をご覧ください。6年生は抽象的な考えができるようになる段階でもあります。子供たちが生活の中で感じる疑問を哲学的に対話する言語活動も取り入れられています。これは今までの教科書会社にはなかったことだと思います。

光村は具体的に学習に取り組めるように身近な問題や子供が直面するような問題が取り上げられています。例えば2年生の下、「相談にのってください」という単元があります。子供たちが普段の生活の中でこんな時困るよね、と問題を設定して、そんな時どのように相談すればよいかを言語技術として学ぶといった単元となっています。以上のことから生活にかなり寄り添ったものになっている印象があります。

#### 【花田会長】

続いて、書写の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。

#### 【調査員】

続いて書写の教科用図書の調査報告をさせていただきます。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、課題解決的な学習を実施するために、「①見つけよう」「②たしかめよう」「③生かそう」「④振り返ろう」という4つのプロセスが示されていること、中でも学習導入時の「①見つけよう」において、児童がより主体的に課題を設定できるよう2つの対照的な例が示されていることが特徴的なこととして挙げられます。

続いて、教育出版の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」というコーナーに示されている内容が、他教科や日常生活とのつながりをより強く意識したものになっており、児童が書写で習得した力を他の場面でも活用しやすくなるように内容が構成されています。

続いて、光村図書の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、児童が学習活動に必然性をもつことができるよう、国語科の教科書と連動する形で教材が掲載されています。また、第6学年の教科書には、「書写ブック」という冊子が付属しており、1年生から6年生までに学習したことが日常生活にどのように広がっていくのかということが示されています。

以上で、書写の教科用図書の調査報告を終わります。

**【楨本委員】**

国語と書写の教科書会社は別会社になってもよいのですか。

**【事務局】**

問題ありません。

**【楨本委員】**

光村は国語の教科書と書写の教科書が連動しているようですが大丈夫でしょうか。

**【調査員】**

学習自体に問題はないですが、光村については連動が難しくなります。学習自体が成立しないということはありません。

**【楨本委員】**

光村は、例えばどこが連動していますか。

**【調査員】**

6年生の16ページをご覧ください。「伝えるってどういうこと」という単元があります。この単元で「ウイルスをやっつけよう」というポスターが作られています。これは国語科に提案書を作成する単元があり、ここで提案した内容を実際に書写でつくるという形になっています。

**【小川委員】**

具体的にどこで連動していますか。

**【調査員】**

申し訳ありません。内容自体は連動していません。国語科で提案したことについて、書写で発信の仕方等が紹介されています。

**【花田会長】**

「主体的に学習に取り組む」というところについて東書についてより詳しく教えてください。

**【調査員】**

東書6年の2～3ページをご覧ください。東書はどの学年も全て書写の学び方が示されています。見つけよう、確かめよう、振り返ろう、生かそう、ふり返ろう、さらに生活に広げようのところで学習の見通しをもつことができるようになっていきます。子供たちが主体的に自分で見通しをもちながら学習ができるように構成されています。子供たちと先生が見通しを共有できるようにすることで、先生も子供たちに主体性を育てるヒントになると思います。

**【松本委員】**

教出についてですが、教科横断的とありましたが、例えば6年生だったら歴史等と組み合わせるといえるのでしょうか。17ページに金閣寺が出てくるので社会科と組み合わせると考えられます。他の学年にもそのような教科横断的なものが設定されていますか。

**【調査員】**

そのとおりです。特に硬筆に関わるようなところでは他教科と連動するようになっています。例えば3年生の47ページのローマ字は国語科のローマ字の内容に、48～49ページは内容としてはスーパーマーケットの工夫となっているので、これも社会科の見学の際のメモの取り方と連動するようになっています。

**【花田会長】**

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

まず書写の方から意見を伺います。

**【河田委員】**

教出の他教科との関連についてですが、4年生を見ると28～29ページを見ると理科ノートのとめ方が書いてあります。書写は独立していました。教出なら他の教科書にも生かせるのではないのでしょうか。

**【矢野副会長】**

ポスターとかリーフレットの作成についてレイアウトを考えるのに生かすことができますね。

**【河田委員】**

このようなとめ活動が増えてきましたね。

**【青山委員】**

東書の3年生の26ページにも同じように「実験したことをまとめよう」とあり理科の実験の書き方が示されています。6年生も22ページに防災マップを作ろうとなっています。

【矢野副会長】

どの教科書会社も各教科に関わっていますね。

【松本委員】

光村の5年生35ページには英語もあります。

【河田委員】

光村はめざせ新聞記者とあり、新聞も活用されています。

【矢野副会長】

年間授業時数が35時間しかないですが、足りるでしょうか。

【河田委員】

理科ノートなどをまとめる時等に使うのではないですか。

【花田会長】

新聞記事を書くときは書写の教科書を使用するなどの工夫が必要ですね。35時間の中では厳しいです。

【花田会長】

光村は、どのページにも動画がついています。しかし、それは東書も同様です。教育出版にも動画が付いていますね。

【花田会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

【花田会長】

これより、国語の協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【花田会長】

5年生を見ると大造じいさんとガンがどの会社にもあります。

巻頭を見ると単元の示し方がわかります。光村、東書書籍はやることが明記されていてわかりやすいです。教育出版は小さい番号ぐらいでわかりにくい。

【矢野副会長】

東書、光村は丁寧に見通しや流れが示されています。教育出版は割とあっさりしています。

【小川委員】

教出は、教科書が薄く持ち運びに便利です。教科書もQRコードがあると持ち帰らないといけないですね。

【松本委員】

学習の流れはどの教科書も示していますが、光村には「問いをもとめよう」というところがあって、子供に問いかける言葉で単元をとおした問いがあります。他の教科書会社と違い主体的な学びにもつながるように思います。他の教科書会社は確かめようとなっています。

【青山委員】

6年東書の12ページに、デジタルノートの使い方の説明があります。

【松本委員】

光村だったらデジタルノートではないですが、最後に思考ツール等が載っています。

**【花田会長】**

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

**【花田会長】**

それでは、これより、選定協議が途中の教科書について、協議を再開しますが、ご意見がなければ、評価表の続きをご記入ください。

**【各委員】**

(意見なし)

**【花田会長】**

では、時間となりました。以上をもちまして、第2回選定委員会を終了いたします。ありがとうございました。

それでは、事務局、事務連絡をお願いします。

**【事務局】**

本日は、充実した選定協議を行っていただき、ありがとうございました。

最後に、私から3点連絡いたします。

1点目は次回の選定委員会についてです。次回は、7月19日(水)13:30から、この会場で行います。本日、資料とともに、次回の開催案内をお配りしておりますので、お持ち帰りください。

2点目は、第1回目の議事録についてです。ご確認いただきましたら、署名、押印をお願いします。

3点目は、本日配付した資料についてです。次回の開催案内以外の資料を、お配りしております封筒にすべて入れていただき、机の上に置いてお帰りください。

私からは以上となります。

本日は、ありがとうございました。

府中市教科用図書採択地区選定委員会

会 長 \_\_\_\_\_ 印

副 会 長 \_\_\_\_\_ 印

選定委員 \_\_\_\_\_ 印

選定委員 \_\_\_\_\_ 印

選定委員 \_\_\_\_\_ 印

選定委員 \_\_\_\_\_ 印

選定委員 \_\_\_\_\_ 印

選定委員 \_\_\_\_\_ 印